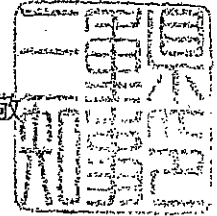


平成29年6月27日

三重県議会議長 様

三重県知事 鈴木 英敬



議員派遣について (依頼)

平素は、平和啓発取組の推進につきましてご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、伊勢志摩サミットにおいて各国首脳から「平和のメッセージ」が発信されたことを契機とし、平成29年が県議会の非核平和県宣言から20周年にあたることもふまえ、三重から平和を発信するとともに、県内の若い世代が被爆地の若者との交流などを通じて戦争の実態や悲惨さに触れ、平和への想いをより一層深める機会となるよう「平和のつどい」を開催いたします。

つきましては、誠に恐縮に存じますが、議員派遣につきましてご配慮賜りますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 平成29年8月9日 (水) 13:00~16:00
- 2 場 所 アストホール (津市羽所町700 アスト津4階)
- 3 派遣内容 オープニングセレモニーにおける県議会の平和の取組紹介

事務担当

戦略企画部 戦略企画総務課 企画調整班 浮田・馬場

TEL 059-224-2009

FAX 059-224-2069

平和のつどいについて

1. 日時

平成29年8月9日(水) 13時00分から16時00分まで

2. 場所

アストホール(津市羽所町700 アスト津4階)

3. 目的

「平和な世界のために私たちができること」というテーマのもと、未来を担う県内の若い世代を中心に幅広い県民を対象に、戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えるとともに、平和について考え、行動する契機となるようにします。

4. 内容

(1) 広島県の高校生による活動発表

「次世代と描く原爆の絵」(※)を制作した広島市立基町(もとまち)高等学校普通科創造表現コースの生徒と被爆体験証言者をお招きし、その活動内容をお話しいたします。

(2) 県内の大学生による活動発表

県内の戦争体験者に対するインタビュー収録を行った皇學館大学の学生が、その内容を上映するとともに、活動成果を発表します。

(3) 両県の学生によるトークセッション

知事をコーディネーターに、活動発表を行った広島市立基町高等学校普通科創造表現コースの生徒と皇學館大学の学生が「戦争体験の伝承～平和な世界のために私たちができること～」をテーマに意見交換を行います。

(4) 県内の子どもたちによる平和パフォーマンス

県内の子どもたちが平和を題材にした合唱、詩の朗読を実施する予定です。
(実施内容、出演者等については現在調整中です)

(5) 全国戦没者追悼式子ども代表団の結団式

全国戦没者追悼式へ派遣する「子ども代表団」の結団式を行い、知事から代表団の子どもたちに委嘱状を交付します。

※「次世代と描く原爆の絵」

原爆被害の実相を後世に伝えていくとともに、被爆体験を継承していくため、広島平和記念資料館が平成16年度から実施している事業で、広島市立基町高等学校は平成19年度から取り組んでいます。

広島県内の戦争を知らない若者が、被爆体験証言者と直接の対話を重ねることで、当時の惨状だけでなく体験者の思いに触れながら制作した、被爆当時の広島を描いた絵画です。

平成27年度は、広島市立基町高等学校普通科創造表現コースの生徒24名、卒業生3名、教員3名が、12名の被爆体験者とともに制作に取り組み、平成28年7月に35点の作品が完成しています。